

由利

天理教由利分教会
郵便番号 015-0862
由利本荘市小人町159
電話 0184-22-0707
FAX 0184-22-1235
yurisoudan.13@gmail.com

立教187年 令和6年

5 月 号



教祖140年祭登殿参拝

一 三 日	九 日	七 日	五 日	三 日	二 日	一 五 日
由利分教会月次祭	利秋分教会おつとめ、車点検日	おさづけ取次日	お願いづとめ（13時30分）	支部例会（亀田町分）	支部婦人会例会	北蒲原分教会月次祭
三十日	二九日	二八日	二六日	二二日	一九日	一五日
役員当番	全教一斉ひのきしんデー	御本部月次祭（昇殿参挙）、由利婦	大教会月次祭	婦人会第一〇六回総会	教祖御誕生祭	クリーンデイYURI
役員会議	三十日	二九日	二八日	二二日	一九日	一八日

トマトの甘味

今月の言葉

由利分教長

佐々木 正明

用木一斎活動日について

桜の季節もあつという間に過ぎて、次第に一歩一歩と夏の到来を感じる今日この頃です。

さて教祖百四十年祭三年千日も二年目に入り、御本部で打ち出しておられる『用木一斎活動日』も二回目に入る事となりました。同活動日の内容は、最初におつとめ、諭達拝読、教会本部からのビデオメッセージ、その後会場ごとのプログラムとなつております。

この『用木一斎活動日』に関して、前回も月次祭で紹介したつもりですが、今思えばまだ十分に信者さん方にその意味合いを伝えきれていないかったように思い、改めてこの『用木一斎活動日』の意義を説明させて頂きたいと思います。

これは私独自の悟りも入つているかと思いますが、何故この『用木一斎活動日』を年祭期間中に六回も実施するかと言えば、一つには、この行事に参加して頂く事によって、年次第に一歩一歩と夏の到来を感じる事があるからです。また教祖百四十年祭三年千日も二年目に入り、御本部で打ち出しておられる『用木一斎活動日』も二回目に入る事となりました。同活動日の内容は、最初におつとめ、諭達拝読、教会本部からのビデオメッセージ、その後会場ごとのプログラムとなつております。

又同行事の後半のプログラムは、各会場に任せることになりますが、これも今まで全て本部が定めた事におんぶに抱つこという感じがありましたが、今回は各支部で自主的に考えなさいという事で、これもある意味『自ら立ち上がり下さい』という御本部の期待もあるのではないかと思つております。

又実際私達用木も、教祖百四十年祭年祭活動と打ち出しを受けていたながら、結局はこれと言つた実動ができないままに教祖百四十年祭が終わってしまったという事もないとも言ひきれないと思います。そういう意味でも、御本部で六回も重ねて活動

かと思ひます。何故この『用木一斎活動日』を年祭期間中に六回も実施するかと言えば、一つには、この行事に参加して頂く事によって、年次第に一歩一歩と夏の到来を感じる事があるからです。また教祖百四十年祭三年千日も二年目に入り、御本部で打ち出しておられる『用木一斎活動日』も二回目に入る事となりました。同活動日の内容は、最初におつとめ、諭達拝読、教会本部からのビデオメッセージ、その後会場ごとのプログラムとなつております。

又同行事の後半のプログラムは、各会場に任せることになりますが、これも今まで全て本部が定めた事におんぶに抱つこという感じがありましたが、今回は各支部で自主的に考えなさいという事で、これもある意味『自ら立ち上がり下さい』という御本部の期待もあるのではないかと思つております。

又実際私達用木も、教祖百四十年祭年祭活動と打ち出しを受けていたがら、結局はこれと言つた実動ができないままに教祖百四十年祭が終わってしまったという事もないとも言ひきれないと思います。そういう意味でも、御本部で六回も重ねて活動

かと思ひます。何故この『用木一斎活動日』を年祭期間中に六回も実施するかと言えば、一つには、この行事に参加して頂く事によって、年次第に一歩一歩と夏の到来を感じる事があるからです。また教祖百四十年祭三年千日も二年目に入り、御本部で打ち出しておられる『用木一斎活動日』も二回目に入る事となりました。同活動日の内容は、最初におつとめ、諭達拝読、教会本部からのビデオメッセージ、その後会場ごとのプログラムとなつております。

又同行事の後半のプログラムは、各会場に任せることになりますが、これも今まで全て本部が定めた事におんぶに抱つこという感じがありましたが、今回は各支部で自主的に考えなさいという事で、これもある意味『自ら立ち上がり下さい』という御本部の期待もあるのではないかと思つております。

又実際私達用木も、教祖百四十年祭年祭活動と打ち出しを受けていたがら、結局はこれと言つた実動ができないままに教祖百四十年祭が終わってしまったという事もないとも言ひきれないと思います。そういう意味でも、御本部で六回も重ねて活動

かと思ひます。何故この『用木一斎活動日』を年祭期間中に六回も実施するかと言えば、一つには、この行事に参加して頂く事によって、年次第に一歩一歩と夏の到来を感じる事があるからです。また教祖百四十年祭三年千日も二年目に入り、御本部で打ち出しておられる『用木一斎活動日』も二回目に入る事となりました。同活動日の内容は、最初におつとめ、諭達拝読、教会本部からのビデオメッセージ、その後会場ごとのプログラムとなつております。

又同行事の後半のプログラムは、各会場に任せることになりますが、これも今まで全て本部が定めた事におんぶに抱つこという感じがありましたが、今回は各支部で自主的に考えなさいという事で、これもある意味『自ら立ち上がり下さい』という御本部の期待もあるのではないかと思つております。

又実際私達用木も、教祖百四十年祭年祭活動と打ち出しを受けていたがら、結局はこれと言つた実動ができないままに教祖百四十年祭が終わってしまったという事もないとも言ひきれないと思います。そういう意味でも、御本部で六回も重ねて活動

日々のご守護を感謝して 由利支部ひのきしんデー

去る四月二十九日、恒例の全教一齊ひのきしんデーが開催されました。

日を打ち出されたのではないいかとも推察できるのではないかと思います。

それで、この度の第二回目の用木一斎活動日は、来月六月二日(日)午後一時半から当教会を会場に実施されます。前半のプログラムは、前述の通りですが、後半のプログラムは、『言葉一つ』という題名で、教祖逸話編を元とした寸劇を由利支部の有志の方々が演じられます。教祖のお言葉を改めて噛みしめさせて頂けると共に、教祖御在世時代を彷彿とさせるような寸劇ですので御期待下さいますようお願い申し上げます。

なにわともあれ教祖百四十年祭活動の上での御本部主催の行事ですので、一人でも大勢の方々の御参加をお願い申し上げる次第です。

由利支部会場は、昨年同様に前郷にある「木のおもちゃ美術館」で開催させて頂きました。当日は晴天のご守護の下、施設周辺の除草ひのきしんをおこなわせて頂き、施設の方にもとても喜んで頂きました。また少年会員は入館料を支部から助成してもらい、館内を思いつきり満喫していました。



もとでも喜んで頂きました。また少年会員は入館料を支部から助成してもらい、館内を思いつきり満喫していました。

詰所では、夕食に教祖の御誕生会が開かれ、北洋婦人会の皆様方の手作りの品にたんのうすると共に、ゲームを楽しみ笑顔一杯の時を過ごすことができました。

四月十九日には、婦人会第百〇六回総会が青空の下開催され、真柱様のメッセージが代読されました。

「ひながたをたどる皆さんの活動が、この道の足元を温かく、しっかりと支える台となるよう教祖百四十年祭へ

喜びのうち無事帰秋 教祖誕生祭、婦人会総会団参

四月十七日色とりどりに咲きほころぶおぢばに到着。

翌四月十八日には神殿草とりのひ

天のご守護の下、施設周辺の除草ひのきしんをおこなわせて頂きました。

当日は晴天

のきしんに参加させて頂き、教祖誕生祭参拝。祭典終了後、コロナ渦以降五年ぶりに「よろこびの大合唱」が催されました。神殿北礼拝場前に「おめでとうございまます」のプラカードと「ひながたの道」の音楽と歌声が流れると胸が熱くなる思いでした。



三千千日の道を心勇んで通りきつて頂きたい」とのお言葉を聞かせて頂き、心改たに思いを深めました。婦人会長様には「ひながたを素直にたどり自ら育ち、人を育て女性の徳性を發揮して実動につなげましょう」との心がまえをお示し下さいました。

おぢばで頂いたたくさんのお土産話をみなさんと時間を作り、練り合いたいと心から思い帰路につきました。

「感謝の心を日々に」
のお供のご報告

婦人会員の皆様、又心ある男性の方々の御協力により、**十七万三百二十三円**という大変沢山の御供を頂く事ができました。この度無事教祖にお届けさせて頂いてきました。本当に心より御礼申し上げます。

また一年、恙なく通らせて頂けますようよろしく御協力お願い申し上げます。

6月祭典役割表

神殿講話 矢島町分教会长

て お ど り												会 長		祭 主				
胡 弓	三 線	小 味 琴	す り が ね	太 鼓	拍 子	チ ヤ ン ボ ン	笛	地 方 (副)	地 方 (主)			坐 り づ と め	利 翔 布	由 利 東 布	扈 者	利 翔 布	由 利 東 布	扈 者
小川道子	小松敬子	木内教子	東滝沢(前)	東滝沢	由利道	雄物川	仁賀保	亀田町	齋藤清一	上之浜	利翔布	由利東布	会長夫人	矢島町	松田理奈	利翔布	由利東布	扈者
豊島末子	斎藤美和子	中村柳子	斎藤清一	豊島栄二	木内正信	佐々木由明	斎藤賢爾	小林大晃	佐々木義實	佐々木由正	利翔布	由利東布	雄物川	佐々木めぐみ	伊藤奈津子	桑原廣	斎藤清一	賛者
豊島絢子	畠山清香	木内美香	木内正信	小野繁樹	伊藤一男	桑原廣	佐々木義實	伊藤翔	豊島栄二	由利東布	伊藤伸	豊島優	佐々木由正	佐々木良美	小川昭子	小川貴美子	上之浜	指図方

部内だより

矢島町分教会

おやさまお誕生祭に、矢島2名、矢東、布教所長1参拝させて頂きました。

教祖百四十年祭 第二回 ようぼく一斉活動日

日時 六月二日(日) 午後一時半
場所 由利分教会
プログラム おつとめ、諭達挙讀

※教祖逸話編を題材に劇をさせて頂きます。どうぞ皆さまお越し下さい※